

平成 27 年 1 月 28 日

東京信用金庫、新庁舎落成祝いに 1 千万円を寄贈

～区民が集まり、楽しめる「デジタルミュージアムシステム」の購入に充てます～

本日、豊島区は、5 月 7 日にオープンする新庁舎の落成祝いとして、東京信用金庫より 1 千万円の寄贈を受けた。

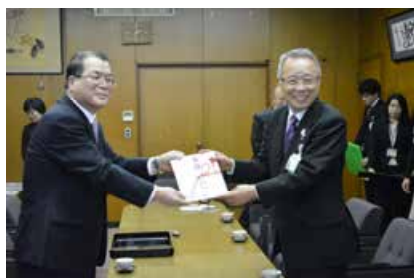
区では、新庁舎を「ミュージアム-美術館・博物館」に見立てて、まるで、庁舎そのものが「まち」であるかのように、文化に触れながら、気軽に集うことのできる場にする「新庁舎まるごとミュージアム構想」を推進している。3 階から 9 階の通路部分の壁面等を活用しながら、区の文化資産の紹介展示や重点施策等の情報を分かりやすくタイムリーに掲示し、区民や来庁者に発信するとともに区の魅力をアピールしていく。

寄贈を受けた 1 千万円は、「新庁舎まるごとミュージアム構想」の趣旨に賛同いただいた東京信用金庫の、「多くの区民が集まる場所に設置し、区民が楽しめるような装置に」という意向を踏まえ、まるごとミュージアムの目玉の一つでもある「デジタルミュージアムシステム 5 台」に充てる。デジタルミュージアムシステムとは、タッチパネルモニターを傾斜型のキャビネットに設置し、触れるだけの簡単な操作で登録した画像を拡大縮小して鑑賞できるもの。メニューの中から豊島区のさまざまな文化資源を楽しみながら鑑賞ことができ、操作していない時には、スクリーンセーバーでスライドショーを流すことができる。

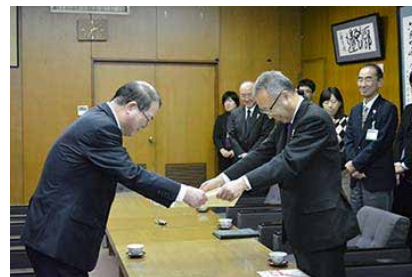
本日午後 2 時半より行われた贈呈式で、東京信用金庫理事長の半澤進（はんざわ・すすむ）氏は「(デジタルミュージアムシステムを) 広く区民にご利用いただきたい。豊島区に本店を置く金融機関として、これからも地域貢献していきます」と話し、高野之夫豊島区長は「みんなが関心を持つ装置。新庁舎の一番の目玉である『まるごとミュージアム』で有効に活用します」と話した。

贈呈式の様子

(左：半澤理事長、右：高野区長)



贈呈式の様子 2



問い合わせ：文化デザイン課